

こんな活動です

明日を担う王寺っ子を地域で育む ～学校・家庭・地域とのパートナーシップの強化を推進～

奈良県王寺町		●活動名 王寺小学校コミュニティ協議会				●関係する学校名 王寺町立王寺小学校				
協働活動開始年度	平成 24 年度	関係学校数	1 校	のべ学級数	20 学級	のべ児童・生徒数	506 人	●体制図 		
活動区分	学校支援活動	—		—		—				
	地域未来塾	放課後子供教室		—		—				
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数		地域学校協働活動推進員等の数		配置人数					
	—		—		3人					
学校運営協議会	指定・設置日		ボランティアの数	延べ登録人数	企業・NPO等との連携	無				
	平成34年4月1日設置予定		—	130人	—	—				
参考URL	http://oji-syo.sakura.ne.jp									
●連絡先	王寺町教育委員会 生涯学習課				☎ 0745-72-1031					

●活動の概要・経緯
本校は以前から環境・栽培学習に取り組んでおり、過去に「全国花いっぱいコンクール」総務大臣賞など、数々の賞を受賞してきた。これらの取組から、「『一人一鉢』で花づくり」、学年園では「野菜作り」を栽培ボランティアの方々にお手伝いいただき、「食」の分野にも拡大した栽培活動を今も継続し、さらに「命」の教育につなげている。その他、体育支援・学習支援・放課後子ども教室へとボランティアの方々による支援が広がり、様々な場面で学校と地域の交流がすすんでいる。
「王寺町教育振興ビジョン」において、「『和(やわらぎ)』地域とのふれあいを推進する」という基本方針の下、「よく考える子 ささえ合う子 たくましい子 やりぬく子 元氣にあいさつのできる子」を協議会における目標として掲げ、学校、家庭、地域が連携を深め、地域と共にある学校づくりを推進し、日常的に世代を超えた多くの人たちとのふれあい、地域と共に豊かな心を育むことを狙いとしている。

●活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

〔学校支援活動〕

- ①栽培活動:「一人一鉢」で花づくり、学年園で野菜づくりをすることを通した命の学習。
- ②体育支援活動:「たくましい心身」の育成を目指した、水泳、運動会の練習、マラソン大会などの、多様な支援をいただいた。
- ③学習支援活動:読み聞かせ、九九暗誦、実技教科での技術面サポートや、グループ、個別指導。

〔放課後子ども教室〕

サタデースポーツでは、本校の運動場・プール等を利用し、様々な球技や水泳大会、地域中学生指導による陸上競技、地域の方々やランドゴルフの交流等、様々な種目のスポーツを実施。

〔地域未来塾〕「王寺小学校寺子屋塾」

週3日の放課後2時間、地域の方々への支援をいただいて、宿題や教材プリントを使用しての学習支援を実施。

【実施に当たっての工夫】

年間3回の学校コミュニティ協議会を年間計画に位置づけ、教職員とコーディネーターとの連携を深めている。

支援に関しては、PTA総会において保護者ボランティアの活動報告とボランティアの募集を行い、さらに、学年便り、学校便りだけでなく、校内をはじめ王寺町教育委員会や地域の郵便局等の掲示板を利用し、活動内容を地域の方々へ提示している。また、1ヶ月毎のボランティア依頼表を作成し、学校教育活動や授業における要望を示すことで、支援に向けた計画的な準備を行っている。

●地域学校協働活動を実施しての効果・成果

教職員は学習計画案を事前に立て、コーディネーターとの連携を綿密に行っている。教職員が希望する内容のボランティアを、コーディネーターが保護者ボランティアに連絡をとり、活動へと結びつけることで、各授業において多くの保護者ボランティアが支援してくださっている。それによって、多様な学習内容を計画することができるようになり、また、体育科の運動領域や家庭科における学習支援のおかげで、児童は、安全面において安心して授業に取り組むことができている。

保護者ボランティアは、毎年多くの方々の応募があり、児童にとって様々な関わりをもっている。さらに、保護者・地域の方々も、学習支援を通して保護者間のつながりが生まれ、保護者同士・地域住民同士の連携も強化されている。

●その他

寺子屋塾は、王寺町教育委員会が主体となって、学校を通じて参加者を募って運営している。地域の経験豊富な人材を活用し、小学4年生～6年生を対象に、火・木・金の放課後2時間、宿題や教材プリントを使用して、個人のペースに合わせた学習支援を行っている。



「一人一鉢」学校支援活動(栽培支援活動)



「放課後子ども教室」サタデースポーツ(ランドゴルフ)